りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより　第９９号

2013年（平成25年）７月　発行：住民の会広報委員会　電話：729-0617　発行責任者　塚本誠子

平成25年度通常総会報告

「住民の会設立20周年を迎えて」

住民の会会長　塚本誠子

４月20日（日）通常総会がケアセンター成瀬地下デイサービスフロアで開催されました。

今年は、ケアセンター成瀬建設促進委員会設立から数え20年を迎えるのにあたり、その記念事業に関する討議も含め、活発な意見が出されました。

出席者は29名、議長に岩﨑寿美男さん・原口秀夫さん、書記に高口禎之さん・島峯紀子さんを選出、永井まちさんの司会で始まりました。

住民の会会長の挨拶の後、来賓として創和会理事　中村浩子さん、ＮＰＯアップルサービス理事長　原厚平さんの挨拶があり、討議に移りました。

＊第一号議案
平成24年度活動報告
事務局長　小竹金次さん

＊第二号議案
平成24年度会計報告
会計　大竹重昭さん

＊第三号議案
平成24年度監査報告
監事　小林一朋さん

＊第四号議案
平成25年度活動方針（案）
副会長　安達聡子さん

＊第五号議案
平成25年度活動予算、活動計画（案）
会計　大竹重昭さん

以上の方々から報告がなされ、各議案全て承認されました。

小竹金次事務局長から、20周年記念事業として納涼会・講演会・バス旅行などを実施したい旨、提案があり、承認されました。

住民の会・創和会・ＮＰＯアップルサービスの関係は非常に良好であり、昨年秋に実施された「福祉サービス第三者評価委員会」でも、ボランティア支援などに高い評価を受けました。

しかし、高齢化による会員数の減少は、多くの課題を生み出していますが、この課題解決のために活動のあり方の工夫、新しいアイディア、広報の徹底、若い人にも魅力のあるイベント開催等々、多くの意見が出ました。

＊　＊　＊

最後に大変残念なご報告があります。

長年役員としてご活躍いただき、今回の総会にも会計として報告された、大竹重昭さんが、６月９日急逝されました。

謹んで哀悼の意を表します。

平成25年度ケアセンター成瀬住民の会役員

会長	塚本誠子
副会長	佐藤康夫
〃	安達聡子
事務局長	小竹金次
会計	野中節子
監事	小林一朋
〃	高綱智美
(社福)創和会理事長	西嶋公子
ＮＰＯアップルサービス理事長	原厚平
地域ケア委員会	小林一朋
研修委員会	岩﨑寿美男
広報委員会	塚本誠子
行事委員会	佐藤康夫
ボランティアグループ会議	永井まち

目次

＊総会報告　…Ｐ１
＊ダンケムジーク
第50回記念
コンサート　…Ｐ２
＊介護日記
ＮＰＯアップルサービス
…Ｐ３
＊家族介護者交流会
ケアラーズ開催の
お知らせ
その他　…Ｐ４

ダンケムジークの会 第50回コンサート ♪♪♪♪♪♪♪

2013年
6月23日

「夏の〝ときめき〟コンサート」と銘うった50回記念の節目、〝ときめき〟の予感はこの日、まさに現実のものとなりました。

第一部の稲川有徳（いながわ ありのり）氏の演奏は、ハーモニカの概念を打ち破るものでした。

多くの人が一度は手にしたことのある楽器だけに、想像を超える楽器の可能性とそれを引き出してゆく演奏者の実力を目の当たりにし、驚きを持って聴き入りました。

マジシャンのように楽器を持ち替え、吹きこなすテクニックは目にも楽しく、トークに溢れる彼の人柄もまた魅力的。

何といっても紡ぎだされる音色は多彩で、豊かな表現は抜群の説得力を持っていました。

「ハーモニカ演奏の奥深さ、魅力を知り感動」「心がふるえました」「多彩な音色に驚き」「〝世界一小さなオーケストラ〟と呼びたい！」等々の声がアンケートに寄せられ、多くの方から「力と元気と喜びを与えられた」との感想が寄せられました。

ダンケムジークメンバーであるピアノ伴奏の荻野さん、司会の西さんは、その魅力を引き出すべく役割を果たしてくださいました。

第二部は「歌声喫茶風」プログラム。

コンサートを50回まで続けることが出来たのは、演奏者・スタッフの企画に応えてくださるお客様の応援あってのこと・・との感謝の思いから企画されました。

49回コンサートでいただいたリクエストをもとに世界の愛唱歌18曲を選び、手作りポケット歌集に添って歌声を合わせました。

世界への誘い役はアンサンブル「ラミューズ」のピアノ(荻野恭子さん)、ヴァイオリン(田代美穂子さん)、フルート(塚本満帆子さん)に稲川さんのハーモニカも加わり贅沢な伴奏です。

詞に相応しい風景を映し出す画面映像に気分も高まり、170名を超えた会場は一体感に包まれました。

「最高に楽しかった」「声を合わせ、元気になりました」「久しぶりに歌で声をだしました」「思い切り歌い幸せな一日でした」等々、アンケートの声にスタッフ一同、達成感を味わいました。

16年の間、ケアセンター成瀬をめぐる様々な状況の変化に対応しつつ、柔軟さと頑固さを併せ持って運営してきた「ダンケムジークの会」ですが、この日もまた音楽による「豊かなコミュニティーの実り」を見ることができ、スタッフ一同、喜びに満たされました。

多くの方々のご理解とご協力のもと、50回の歩みを進めることができました事、ここに改めて感謝申し上げます。

第50回コンサート
実行委員長　米澤二美

寄付金贈呈

5月31日（金）、ダンケムジークの会より社会福祉法人 創和会に寄付金15万円を贈呈いたしました。

これは平成24年度に行われたコンサートの収益金です。

ダンケムジークの会発足以来、この16年間の創和会への寄付金は250万円。

その他　施設使用料、NPO法人「暖」への喫茶費支払いなどを加算すると、貢献額の総額は4,243,275円になりました。　お客様ののべ人数は7,398名。出演者の総数は1,067名にのぼります。

皆さまのご協力に心より感謝いたします。

遠距離介護も捨てたもんじゃない！
―私の介護日記―

古田玲子

父の四十九日、母の一周忌が済んで早や2ヶ月が経った。

母は13年の入院生活だったが、父はたった2ヶ月で逝ってしまった。91歳の父がぎりぎりまで独りで自宅で過ごせたのはケアマネージャーさん、ヘルパーさん、デイサービスの職員の皆さん、看護師さんその他、従姉妹たちやご近所の皆さん、そんな、たくさんの人の見守りと、力添えがあってのことだと思う。

母に認知症の症状が見られるようになったのは24年前、66歳の時だった。10年後に入院させるまで、自宅で父が母の介護をした。子ども達3人（姉、兄、私）はいずれも関東在住で、実家は金沢市、おいそれと行かれる距離ではなかった。それでも、介護認定を受けさせ、その頃ようやく始まったばかりのデイサービスに通わせた。父が旅行に出かける時に、姉や私が帰省して父の代わりを務めた。

助かったのは、父が楽天的で前向きな性格だったこと。

「ばあちゃんは、こんなおかしなことをするんやぞ」と笑いながら、父は奇行を繰り返す母を愛情一杯に世話していた。そんな父でも、「言うことを聞かないから叩いたこともあったんや、だけど、何も変わらんかった」とポツリともらしたことがあった。穏やかな父がそんなことをしたとは。父の心情を思い、私は涙が止まらなかった。介護の切実さを実感した最初だったと思う。周囲は施設に入れることを勧めたが、父はがんとして、自宅での介護を続けた。

その後、母は歩けなくなり、自宅介護は物理的に無理になり、入院生活を余儀なくされた。しかし、治療の術がないと、最初に入った病院を3ヶ月で出るように言われた。途方に暮れて歩いていた時、目に入った「介護相談」の文字。思わず飛び込んで相談した支援センターに、父までお世話になるとは、その時は考えもしなかった。的確なアドバイスをもらい、幸い自宅から一番近い支援センター系列の病院に入ることができた。

でも自力で食事を取れなくなった母のために、父は、朝晩病院に通い、食事介護を続けた。幼子のようにスプーンでおかゆを口まで運ぶと、おいしそうに食べた。時間はかかったが、きれいに食べきると、私達も嬉しかった。

食事と洗濯、その繰り返しの毎日だった。それが10年近く続く。この間、父と姉、兄と連携を取りながら、2ヶ月に一度くらいの割合で実家に通った。

その間、１５０人の順番待ちを経て、特養ホームに入所させたこともあった。でも、特養ホームは遠く、父が通えない。すると母も肺炎を繰り返し、元の病院とホームを何度も行き来する。結局、元の病院に戻ることになり、特養ホームには一年も入っていなかった。

病院に戻ると、母は不思議に熱を出すこともなくなり、父も再び通いだした。老夫婦にとって、平和で落ち着いた年月だったと思う。

（次号に続く）

ＮＰＯアップルサービス
食事サービス事業部「暖」のご紹介

高綱　美智子

ＮＰＯアップルサービスは今年度通常総会を5月26日に開催し、ホームヘルプ、食事サービス、住まいサービスの各事業部より活動報告と今年度計画が発表され、承認を受けました。

アップルサービスでは、高齢者が元気に暮らし続けられる町づくりをしたいと願って住民の会と連携しながら地域の要望に応じて地道な活動を積み重ねてきました。お蔭様で各事業部とも安定した業績を得ております。

特養は現在20名で満床ですが、この1年間、たびたび人数の変動がありました。入居者の喫食状況の変化に伴い、職員、看護士、管理栄養士と話し合いながら、栄養量が摂れ、一番食べやすい食事の形を探ります。粥食や刻み食、やわらか食の他、ムース食、栄養補助食も加わります。塩分やカロリー制限、アレルギー等の禁止食材にも十分注意が必要です。

朝食は再加熱カートを稼動させ、7時50分に2階特養に運びます。再加熱カートは移動できる大型冷蔵庫のようなもので、前日に調理盛り付けた料理をトレーセットして収納しておくと、翌早朝に熱くする料理だけを加熱する、大変優れた機器です。

入居者は「食事は一番の楽しみ」とおっしゃって、早朝より食堂にきておられる方もいます。「ありがとう」の声と、時には拍手もおこります。日曜日には冷やし中華等、様々な変わり献立もあり、お楽しみのバラエティおやつも用意します。お誕生日を祝うハート型デコレーションケーキも好評です。先日は災害時用として備蓄している非常食の試食を行いました。

食事サービスは一年を通して休み無く様々な形態の食事を提供する業務です。忙しいですが、学ぶことも多くやりがいがあります。「暖」スタッフ14名は努力と協力で連日奮闘しています。食事に関心をお持ちの方、ぜひご一緒しませんか？まずご連絡ください。

０４２・７２１・３００４

高綱・太田

家族介護者交流会　ケアラーズ　開催のお知らせ

介護をするって大変ですよね！　休む日も時間もない。いつも気を張っている状態…。でも、ちょっと**ブレイク**しませんか？

介護をしているもの同士にしかわからない話や、こんな事　知りたかった等、情報交換の場になればいいと思っています。たまには休息も必要です。（＾ｖ＾）

開催日（奇数月第３水曜日）	時　間	会　場
９月１８日（水）	１４：００ ～１５：３０	ケアセンター成瀬 会議室
１１月２０日（水） （都合により第４週に変更）		
１月１５日（水）		
３月１９日（水）		

＊参加費　２００円（お茶代）　＊お電話にてお申し込み下さい。

南第３高齢者支援センター　　０４２－７２０－３８０１

♪ ダンケムジークの会 第51回コンサートのお知らせ♪

本号Ｐ２でも取りあげたダンケムジークの会は、この秋に第５１回コンサートを開催いたします。

コンサートの後半では、第５０回の時と同様「歌声喫茶風」と題し、会場のお客様とご一緒に楽しい名曲の数々を歌います。今度のテーマは日本の愛唱歌です。

開催日時など詳しくは後日、ポスター・自治会回覧等でご案内します。皆さま、どうぞご期待ください！！

これからの催し物（予定）

・きらく会
　8/10(土),8/24(土)
　9/14(土),9/28(土)
・手話ダンス　毎週月曜日
　（祝日は休み）
・資源回収（毎月第４月曜日）
　7/22、8/26、9/23

編集後記

「りんご箱」は今回99号、次号はいよいよ100号のアニバーサリー。よくぞここまで…という感がなくもない。これまで携わって下さった多くの方々に感謝したい。皆様のお力添えがあってこそ、ここまでやってこられた、と心から思う。

「住民の会」に入って何のメリットがあるのか？よく尋ねられる質問である。メリットは個人個人によって違うと思うが、私の場合、「住民の会」で大勢の仲間に出会った。そこでワイワイお喋りしながら、介護のこと福祉のことのみならず、親そして自分の老い、大袈裟に言えば人生全般のことを学んだ気がする。そこから住民の会ボランティア活動に関わり、また自分の趣味活動へと広がって行った。現在、老いた母と一緒に生活して８年が過ぎた。私にとっては大変頼りになる「ケアセンター成瀬」であり「住民の会」である。　㊊

会費納入のお願い

平成２５年度会費未納の方は
下記の方法で納入をお願いします

1　住民の会事務局窓口
　（下記の時間帯に受付）
2　郵便振込
　記号：００１２０－７－７２５１３１
　名義：ケアセンター成瀬住民の会
※ご一報くだされば集金に伺います

ケアセンター成瀬住民の会事務局

住所　　町田市成瀬台３－２４－１
電話・FAX　０４２－７２９－０６１７
ホームページアドレス　http://ccnjk.com
受付時間　月曜日～土曜日
　１０：００～１６：３０
　（日曜日・祝日は休み）